

梨の花



市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木 1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

「夢の実現に向け努力する子どもの育成」に向けて

校長 清田 博之

昨年のスポーツの世界では、オリンピック・パラリンピック以外にも多くの日本人が世界で活躍しました。コロナ禍で何となく沈んでいる時に、ビッグニュースで日本中に元気をもたらしてくれたものでした。日本の男子選手で初のメジャー大会優勝を成し遂げた、ゴルフの松山英樹選手のマスターズ優勝には感動しました。しかし、それ以上に多くの人にワクワク感、感動を与えてくれたのは、メジャーリーグで MVP（最優秀選手賞）を受賞した大谷翔平選手の活躍ではなかったでしょうか。日本人の受賞はイチロー選手以来二人目で、二十年ぶりだそうです。彼が受賞できたのは、投手と打者の二刀流での活躍ぶりが評価されてのことですが、今まで日本でもアメリカでもプロの世界で二刀流に挑戦する人はいませんでした。身体に相当な負担がかかるからだと思います。しかし、彼はプロになる前から二刀流で活躍することを目標に掲げて取り組んできました。

アメリカに渡り、肘や膝の手術をする度に、二刀流を続けていることに対して、多くの専門家や評論家が「無理だ」「投手か打者のどちらかなら活躍できる」などと批判的な見方をする中でも彼は二刀流にこだわり続けました。そして、投手としても打者としても「本当に純粋にどこまでうまくなれるのかな」という思いで頑張った結果が成績につながり、誰からも認められ、愛される選手になりました。

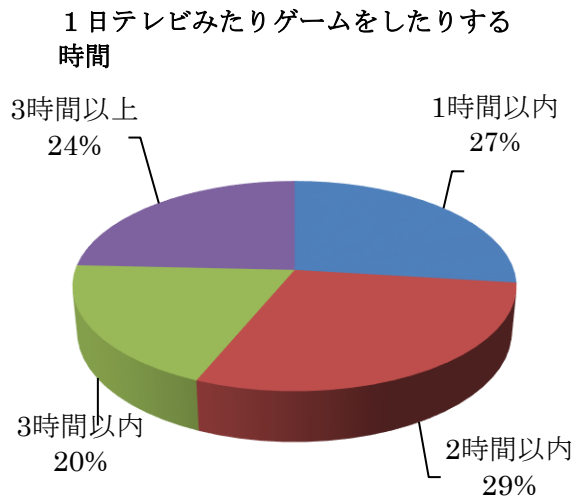
大谷選手の活躍によって、日本でもアメリカでも「二刀流に挑戦したい」という人が増えました。今まで無理だと思われたことを可能にしたからです。これは野球界に限ったことではないそうです。大谷選手がいろいろな人の未知なる可能性にチャレンジしようとする背中を押してくれたわけです。

本校の学校教育目標のサブタイトルは「夢の実現に向けて努力する子どもの育成」です。稲荷木小の子どもたちは、今年、どんな世界を開いていこうと考えているのでしょうか。今までの常識にとらわれず、誰もが無理だと思うようなことでも、自分が興味をもったこと、やってみようと思ったことにチャレンジしよう背中を押していきたいですね。最近の若者の特徴として、すぐに「ムリ！」と発することで、挑戦してしんどい思いをすることから逃げようとする傾向があるのではないのでしょうか。

昨日の自分をちょっと超えようとすることで、明日の世界がひらかれます。そんな稲荷木っ子を育てていくお手伝いができれば…我々、教職員一同願っています。

アウトメディアに取り組みましょう

(ネットやゲームを時間を決めて管理しながら上手に活用)



左のグラフは 12 月に実施した児童アンケートの質問項目の1つです。

既に HP にもUPしてあり、ご家庭や地域の皆様はご覧になられている方も大勢いらっしゃると思いますが、あらためて今回取り上げて考えてみたいと思います。

ネットやゲームの長時間利用することについての弊害は？

- ①視力の低下
- ②ゲーム・スマホ依存症
- ③睡眠時間の減少や質のいい睡眠の妨害
- ④運動・学習・家族との会話など大事な時間が削られる

※ネット・テレビ・ゲームの時間が1時間以内であればその影響はほとんどないが、2時間を超えると負の影響は飛躍的に大きくなることが国際調査や全国的調査でも明らかになっています。

そこで、まずは**大人が率先して取り組んでみませんか？**

私たち大人も知らぬ間にメディア依存とまではいかないまでも、メディアに費やす時間が増えてはいないでしょうか？メディア利用以外の楽しみやリラックス法を見つけ実践することを「デジタルデトックス」といいます。この機会に家庭全体で「デジタルデトックス」に挑戦してみてはいかがでしょうか。

例：親子で同じ本や新聞記事を読んで感想を話し合う

親子で体操やストレッチをする。 親子でトランプなどのゲームをする。

今、健康委員会ではアウトメディアをテーマに全校向けに発表することに取り組んでいます。

子どもたちが考えたアウトメディア…
どんな発表になるか楽しみです。

